

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害福祉課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

### 2. 事業実績

利用実績	(講習会・ボランティア育成事業) ・手話入門講習会(夜間):全8回 86名 ・手話入門講習会(昼間):全8回 231名 ・小学生のための福祉交流学習:連続3日間 65名 ・小学校における福祉交流会:全3回 210名 [作業室] ・在籍数:生活介護 28名 ・食事提供件数:4,482件、入浴サービス:662件																																									
収支実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館 (円)</th> <th colspan="2">障害者福祉サービス (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>29,494,934</td> <td>収入</td> <td>107,613,819</td> </tr> <tr> <td>    委託料他</td> <td>29,335,162</td> <td>    利用料他</td> <td>107,223,789</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>159,772</td> <td>    その他</td> <td>390,030</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>22,754,805</td> <td>支出</td> <td>70,007,544</td> </tr> <tr> <td>    人件費</td> <td>14,576,186</td> <td>    人件費</td> <td>57,338,128</td> </tr> <tr> <td>    事務費</td> <td>5,417,954</td> <td>    事務費</td> <td>5,645,672</td> </tr> <tr> <td>    事業費</td> <td>2,697,425</td> <td>    事業費</td> <td>6,825,251</td> </tr> <tr> <td>    その他</td> <td>63,240</td> <td>    その他</td> <td>198,493</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>6,740,129</td> <td>差額</td> <td>37,606,275</td> </tr> </tbody> </table>	身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)		収入	29,494,934	収入	107,613,819	委託料他	29,335,162	利用料他	107,223,789	その他	159,772	その他	390,030	支出	22,754,805	支出	70,007,544	人件費	14,576,186	人件費	57,338,128	事務費	5,417,954	事務費	5,645,672	事業費	2,697,425	事業費	6,825,251	その他	63,240	その他	198,493	差額	6,740,129	差額	37,606,275	
身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)																																								
収入	29,494,934	収入	107,613,819																																							
委託料他	29,335,162	利用料他	107,223,789																																							
その他	159,772	その他	390,030																																							
支出	22,754,805	支出	70,007,544																																							
人件費	14,576,186	人件費	57,338,128																																							
事務費	5,417,954	事務費	5,645,672																																							
事業費	2,697,425	事業費	6,825,251																																							
その他	63,240	その他	198,493																																							
差額	6,740,129	差額	37,606,275																																							
サービス向上の取組	・会館では、小学校における福祉交流会を前年度より回数を増やし、実施した。また、講習会では周知方法を工夫し、前年度より応募者が1.42倍するなど、地域における障害者福祉の理解、普及啓発に寄与しました。 ・作業室では、感染症対策や家族支援について施設のあり方を検討し、重度の方を積極的に受け入れるとともに、95%と高い稼働率を維持してニーズに対して適切にサービス提供を行った。																																									

### 3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館運営事業においては、小学校における福祉交流会を前年度より回数を増やし、実施した。また、小学校における福祉交流学習では簡単な手話を覚えることで手話を身近なものと考えてもらうことに努めるなど、地域における障害者福祉の理解、普及啓発に寄与した。 ・作業所においては、感染症対策や家族支援について施設のあり方を検討し、重度の方を積極的に受け入れるとともに、95%と高い稼働率を維持してニーズに対して適切にサービス提供を行った。また、モニタリングを6月ごとに行い、個別支援計画を見直すとともに、在宅生活が継続できるよう、課題を精査し、関係機関と連携し、きめ細やかな支援を行った。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・概ね良好な収支状況である。法人内監事監査を受けており、指摘事項はなかった。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・会館では、地区社協、障害者団体等で構成する運営委員会を開催し、会館運営に関する意見等を伺い、サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われている点は評価できる。 ・作業室では、家族負担の軽減や利用者の社会性の拡大のため、サービス提供外で夕食外出の実施し、好評を得るなど、きめ細やかなサービス向上への取組みがなされている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する利用者ニーズに対応するため、全職員が年1回は参加できるよう、研修計画を立てて実施している。</li> <li>・虐待防止について、支援業務で1人で悩まないよう呼びかけるとともに、目撃した場合は、報告するよう通報先を全体に周知し、体制を整備している。</li> <li>・移乗用福祉機器を導入することで、腰痛防止に配慮している。また、産業医を巡回させ、職員の健康チェックを行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に沿った施設管理が行われている。個人情報の取扱いに配慮し、適正に管理している。</li> <li>・併設されている特養と連携し、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施している。</li> </ul>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・会館運営業務については、地区社協、障害者団体等で構成する運営委員会を定期的に開催し、意見の集約等行われている。また、小学校における福祉交流会を前年度より回数を増やし、実施し、講習会では周知方法を工夫し、前年度より応募者が1.42倍するなど、地域における障害者福祉の理解、普及啓発に寄与している。  
・作業室については、感染症対策や家族支援について施設のあり方を検討し、重度の方を積極的に受け入れるとともに、95%と高い稼働率を維持してニーズに対して適切にサービス提供を行った。また、目標稼働率を可視化するなどして職員のやる気を引き出すと同時に、全職員が研修を受講できるよう研修計画を立てるなど、職員の資質の向上に取り組んでいる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・第三者評価の結果を踏まえ、さらなる運営の改善につながるような方法を検討していくこと。